

# 地域医療連携センターだより



## 兵庫県立丹波医療センター

〒669-3495 兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7

TEL : 0795-88-5200 (代表)

Vol.10

発行

令和3年11月1日

佐久総合病院  
柏原赤十字病院  
ミルネ診療所を経て

訪問診療について

合田 建 Ken Goda

兵庫県立丹波医療センター/ミルネ診療所/地域医療教育センター  
神戸大学地域医療支援学部門 特命助教

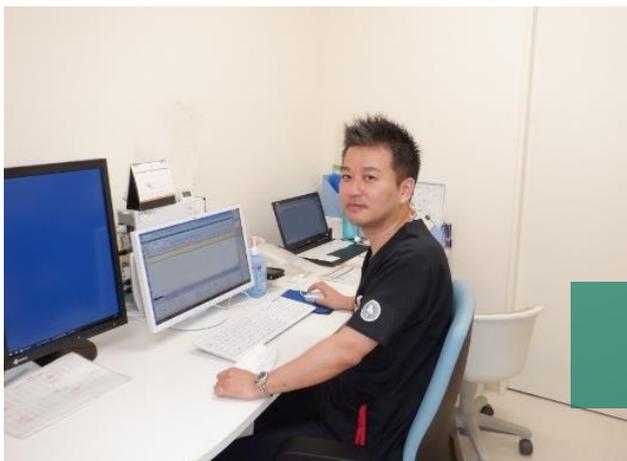
皆様こんにちは。今回はミルネ診療所が行っている「訪問診療」について紹介したいと思います。

私は2014年に神戸大学を卒業し、地域医療のメッカといわれる、長野県にある佐久総合病院で研修をしました。3年間、佐久の歴史・地域医療に触れ、2017年に丹波に来ました。

初めの1年間は柏原病院の入院・外来を担当しました。がんなどの終末期の患者さんが自宅療養を希望されても、医療・看護・介護サポートのハードルから叶えられないことが多かったです。佐久では同様の患者さんに対して、翌日には担当者が集まり、在宅療養の選択肢を提示出来ていたのも、とても歯がゆかったです。実際に、丹波圏域は高齢化率が34.1%と高いものの、在宅死の割合は8.1%です。全国平均13.6%、兵庫県14.4%に對しかなり低いです。文化の違いを感じながらも、佐久の経験を活かして、丹波でも在宅療養の選択肢を提示したいという思いで、翌年には柏原赤十字病院で、週1回の訪問診療を引き継ぎました。佐久での経験を頼りに、看護師を含めた多数の地域・院内の多職種による支えや、何より患者さんやその家族のニーズに合った医療・ケアを提供できている実感から訪問診療を拡大していき、現在では総合診療に在籍する医師チームにより毎日訪問診療や緊急の往診が出来る体制になりました。訪問診療の対象は通院が困難な患者さんです。自宅や施設でも総合診療医が得意とする問診や身体診察をはじめ、超音波や血液検査、点滴等の投薬など出来る診療は数多くあります。

緩和ケア病棟を含めた丹波医療センターがバックベッドとして存在しているため、在宅療養をしながら、いつでも入院という選択肢が提示できます。柏原赤十字病院の行ってきた訪問診療を丹波医療センターとミルネ診療所の連携の中で継続し、どんな人でも、どんな場所でも最適な医療・ケアが受けられるように、全人的な医療を展開していきたいと思しますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





## 診療科紹介：外科

外科部長 寺井 祥雄 Sachio Terai

本年4月より神戸大学肝胆膵外科より丹波医療センターの外科に着任しました。

当院では消化器外科・一般外科全般を行いますが、大学では膵臓がんを主とする膵臓疾患を専門として従事しておりました。

膵臓がんは、がんの中でも年間死亡数第4位、5年生存率は8.9%と非常に治りにくいがんであることが知られており、さらに年々増加傾向です。根治のためには、手術で取りきれることが条件となりますが、手術だけで根治する可能性はまだ低く、治療の効果を上げるためには手術前の化学療法（抗がん剤）や術後の化学療法などの集学的な治療が必要となります。

膵臓の手術は、周囲に重要な血管や臓器が存在し、複雑で高難度な手術となることが知られています。日本肝胆膵外科学会では高難度な手術を安全かつ確実にを行うことができる外科医師を育てるという趣旨のもと、肝胆膵外科高度技能専門医制度を定めております。

高度技能専門医は50例以上の肝胆膵の高難度手術の術者実績と高難度手術のビデオの審査ののち認定されます。2021年現在兵庫県下の病院には高度技能専門医が21名おり、ほとんどは大学病院や県南部の病院に存在します。そういった病院へ手術や術前術後の治療など通院することも困難である場合もあると思いますが、高度技能専門医を取得しております

ので、当院においても術前、術後の治療を含めて肝胆膵の手術をより安全、確実に行っていけると思っております。

ご希望がある場合や癌の進行や併存する疾患などでより高度な治療や手術が必要な場合、標準治療以外の治療（臨床試験など）を行う場合などには、神戸大学肝胆膵外科、がんセンターなどと連携して適切な治療が行えるよう努めてまいります。

膵臓学会指導医でもありますので、膵臓疾患についてなにかご相談がありましたら、患者さんはもちろんのこと、近隣の先生方などにおきましても、なんでも気軽にご相談いただければ結構ですので、ご紹介ください。

今後とも宜しく願いいたします。



特集

## 新型コロナウイルス最前線



## COVID-19 治療薬について



感染症専門医・指導医

見坂恒明

当初、有効な治療薬は手探り状態でしたが 2021 年 10 月 1 日現在、以下の治療薬が国内承認されています。

ロナプリーブ、ソトロビマブは、中和抗体からなる抗体カクテル療法です。新型コロナウイルス表面のスパイクタンパク質に結合し、ウイルスが細胞内に侵入するのを防ぎます。酸素の不要な感染者で重症化のリスクのある方に使用します。

ベクルリーはコロナウイルスを含む一本鎖 RNA ウイルスに効果があり、唯一承認されている抗ウイルス薬です。COVID-19 による肺炎患者に適応があります。

デカドロンは間質性肺炎や重症感染症などに使用する炎症を抑える薬剤で、COVID-19 で人工呼吸器や酸素投与を必要とする患者に適応があります。

オルミエントは COVID-19 が重症化して起こすサイトカインストームと呼ばれる過剰な免疫反応を抑える薬剤で、人工呼吸器や酸素投与を必要とする患者に適応があります。

今後も新薬が出てくる予定ですが、インフルエンザに対する抗ウイルス薬のタミフルのような特効薬的な薬剤はまだありません。治療薬に過剰な期待をせず、ワクチン接種や、マスク着用、手指衛生等で感染予防に努めることが第一です。



救急外来

丹波の医療は私たちが守る～新型コロナウイルス最前線で～

外来看護師

小野 茜

地域のみなさまには、日頃より感染対策として来院時の体温測定・マスク着用・手指消毒のご協力をいただきありがとうございます。

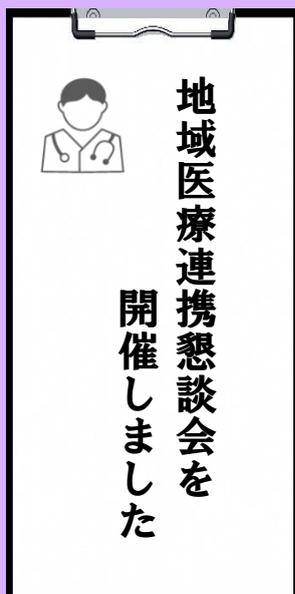
私たち救急外来担当看護師は、救急医療を展開する中で、丹波圏域にお住まいの住民のみなさまの“医療・看護”を担っていることを念頭におき救急看護に尽力しています。また、チーム医療を大切に HCU・一般病棟と連携を取り患者さんに安心いただけるよう看護を実践し、日々の救急現場においては、「患者さんに寄り添う看護」を意識して優しい看護を目指しています。

毎日テレビ報道等で見聞きする「新型コロナウイルス」の社会的影響を受け、当院の最前線である救急外来では、救急を受診するすべての患者さんへ感染予防対策を万全に行い「私たちは“感染をもらわない”“相手にうつさない”」ということに力を入れて対応しています。さらに「患者さんと医療従事者を守る」という信念をもって、対応時には「ゴーグルとマスクを必ず着用すること」「感染を疑う患者さんと一般の患者さんの交差をしない」という点に気をつけて安全で安心な医療看護を提供するよう努力をしています。

これからも感染予防対策を継続して行き“丹波の医療は私たち（TMC）が守る”という強い気持ちで邁進いたします。



《発熱外来の PCR 検査の様子》



地域医療連携懇談会を  
開催しました

地域医療連携センター  
蔭山・西尾

10月7日に、第3回目となる「県立丹波医療センター 地域医療連携懇談会」を開催しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して圏域の関係機関の皆様と勉強会を開催し、院外16名、院内84名、総勢100名の参加がありました。

一つ目の講演は、「急性期脳梗塞治療のパラダイムシフト」と題して、4月に着任した脳神経外科部長の岡村有祐医師による講話でした。「待ってはいけない脳卒中の3徴候」と言われる「顔のゆがみ」「手の動きにくさ」「しゃべりにくさ」を市民へ繰り返し啓蒙していく必要性や、チーム一丸となつての迅速な判断と行動が要求される救急外来のあり方など、非常に具体的で身の引き締まる話でした。脳神経外科の常勤務医師の着任は旧県立柏原病院時代からの悲願でしたが、その期待を大きく上回る力強い講演でした。



二つ目は「血管内大細胞型B細胞リンパ腫について」と題して、7月に着任した血液内科医長の水谷優医師による講話でした。血液がんの事例をご紹介いただき、初期症状や生検の方法、治療についてのわかりやすい解説でした。

どちらの講演にも院内外問わず多くの質問があり、とても活気のある意見交換がなされ閉会しました。マスク越しではありましたが、ご参加いただいた開業医の先生方、薬剤師の皆様、丹波市、丹波篠山市消防の皆様と「顔の見える関係」が築けたのではないかと考えております。今後も丹波医療圏域の関係機関の皆様のご協力をいただきながら、地域医療の充実に努めて参りたいと思っております。ご多忙の中、ご参加いただきありがとうございますございました。



がん相談支援センター に、ご相談ください

がんになっても、そうでなくても「がん」に関するいろいろな相談をおうかがいします。がん専門相談員（看護師）がご相談に応じます。



「がん相談」とお伝えください

※相談費用は無料    ※秘密は厳守いたします    ※当院受診の有無に関わらず利用可能

開設日・時間    月～金（祝日を除く）9時～17時（受付は16時まで）  
連絡先    兵庫県立丹波医療センター がん相談支援センター TEL0795-88-5200(代)



facebook 始めました\*

「👍 いいね！」お待ちしております♪



tmc  
NEWS

## 草刈り作業を実施しました



## ボランティアワーキング 委員長

今年度2回目の地域の方々との草刈りボランティア作業が9月11日（土）に実施されました。地元住民や自治協議会の役員、丹波市立看護専門学校の学生や丹波医療センターの職員など約250名が参加しました。

午前7時30分から、草刈り機や鎌などで、植え込みの雑草を取り除きました。早朝より小雨が降っていましたが、開始と同時にあがり、草引き作業には、丁度よい湿り気となりました。草で生い茂っていた病院周辺も大変美しくなりました。

「新型コロナウイルス対応する医療従事者に感謝の気持ちを伝えよう」とする住民の方々の温かい行動に、私達も感謝の気持ちでいっぱいです。

今後もポストコロナ時代に、感染対策と丹波市ワクチン接種協力への両輪で、頑張っていきたいと思っています。



ありがとう  
ございました



街の  
医療機関

地域医療を担う近隣の医療機関を紹介させていただくコーナーです。医療機関の特徴を知り、地域住民の皆様にも良質かつ効率的で切れ目のない医療が提供できる連携を目指します！  
今号は、平坂眼科 平坂 知彦先生をご紹介します☆

## 平坂眼科

## 平坂 知彦先生(丹波市柏原町)

今回の医院訪問は、平坂眼科医院平坂知彦先生にお話しをうかがいました。先生は京都府綾部市出身で、昭和62年卒業の後神戸大学眼科学教室に入局されました。昭和63年から2年間県立柏原病院に勤務され、その際柏原が水に合い気に入ったとの事でした。学位取得後の平成8年柏原町母坪にて開業され現在に至っておられます。患者さんと話しをするのが楽しく、丹波の住民の気質が好きだと言っていただきました。趣味はゴルフと美術・歴史の研究を挙げられ、フェルメールなど西洋美術の画家の作品を時系列に調べまとめていると話されました。実際にフェルメール作品を

まとめた一覧表の一部を見せていただきました。座右の銘として幸田露伴の「正大精深」を挙げられ、「正しく大きく精緻に深く」物事を観る意との事でした。丹波医療センターに対しては、手術症例などの病診連携が良好で助かっているとコメントをいただきました。若手医師に対しては、医療の中に楽しみを見つけるように、患者が良くなれば嬉しい、喜んでもらうと嬉しいという気持ちを持ってくださいと話されました。充実した趣味の世界のお話しをうかがい、これまでとは異なる全く新しい人生の方向性を垣間見たようで、感心しきりであった今回の訪問でした。（大野 記）



外来診療担当表 (令和3年11月)

診療科 \ 曜日		月	火	水	木	金	備 考
内 科	一般、初診	藤井 康和 藤川 萌恵美	石田 達郎 杉本 龍	見坂 恒明 合田 建 田村 証司	森 寛行	見坂 恒明 水谷 直也 樫田 高浩	◎ 二次精密検査は、一次健康診断結果票をご持参ください。
	専門 (初・再診)	河崎 悟 (循環器) 西崎 朗 (消化器)	新倉 悠人 (循環器) 星島 正彦 (循環器・腎不全)	松本 賢亮 (循環器) 佐藤 悠 (消化器)	柿崎 俊介 (循環器) 西崎 朗 (消化器)	板倉 崇泰 (がん・消化器) 野村 雄大 (消化器) 松本 賢亮 (循環器)	◎ 水曜日の循環器は隔週の為、ご相談ください。
	予約再診	森 寛行	第1・3 午後 河崎 悟	藤井 康和	藤井 康和 清水 健史	田中 健雄	◎ 次回の再診予約のあった患者さんのみ
	こころと記憶の診療科	射場 亜希子					◎ 他医療機関等からの紹介予約のみ
	呼吸器	桂田 雅大	小林 和幸 桂田 雅大(腫瘍)			小林 和幸 (第2・4) 桂田 雅大 (第1・3・5)	◎ 第2・4月曜 午後のみ
	不整脈・ペースメーカ		第2・4 午後 河崎 悟				
	糖尿病		井上 朋也		鈴木 正暉 大橋 紳一郎		
	緩和ケア		板倉 崇泰			板倉 崇泰	◎ 緩和ケア：院内がん相談支援センターで予約された患者さんのみ
	がん治療支援	板倉 崇泰	午後 板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	
	脳神経内科	辻 麻人		関口 兼司			
	腫瘍・血液内科		北尾 章人		水谷 優		
	膠原病				第2・4・5 河野 誠司	一瀬 良英	
	リウマチ内科				上田 佳秀		
	肝臓				星島 正彦		
禁煙・睡眠無呼吸							
小 児 科	1 診	井上 真太郎	高藤 哲	市川 裕太	岡本 光宏	酒井 國安	
	2 診	余田 愛香	岡本 光宏	高藤 哲	市川 裕太	余田 愛香	
	3 診	鈴木 智大			鈴木 智大	井上 真太郎	
	専門外来 (予約)	第2・4 内分泌 坊 亮輔 第1・3 神経 山口 宏 担当医 (予防接種)	井上 真太郎 (夜尿症・循環器) 酒井 國安 (アレルギー疾患) 担当医 (1ヶ月健診)	第3・4 発達 加藤 神奈 担当医 (乳児健診)	余田 愛香 市川 裕太	岡本 光宏 (アレルギー疾患) 高藤 哲	
外 科	一般・消化器	寺井 祥雄	担当医	藤田 恒憲 岡本 柁志	大宮 悟志	大野 伯和 小泉 宣	
	乳腺外科	第1・3 肝臓 木戸 正浩		第2・4 肝臓 木戸 正浩			
整形外科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	芝 昌彦	◎ 金曜 芝医師は初診のみ
		戸田 誠也	安部 真人 上本 晴信 (予約のみ)		安部 真人 上本 晴信 (予約のみ)	戸田 誠也	
リハビリテーション科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	芝 昌彦	◎ リハビリ訓練(要予約)は毎日実施
脳神経外科	甲田 将章 (第1・3) 中井 友昭 (第2・4)	岡村 有祐	担当医 (予約のみ)	岡村 有祐	岡村 有祐	塩見 亮司	◎ 水曜 予約診察のみ 手術日のため救急対応要相談 第5月曜日は交代制
皮膚科		林 ちさ	村田 洋三	中野 英司	村田 洋三	村田 洋三	◎ 火曜 診療開始 9:30~ 受付時間 11:00まで
泌尿器科		吉村 光司	山崎 隆文	吉村 光司	山崎 隆文	担当医	◎ 受付時間 月~木曜 11:00まで 金曜 10:30まで
産婦人科	1 診	丸尾 原義	望月 慎介	武田 晃子	鈴木 美奈子	武田 晃子	
	2 診	出口 雅士	中村 昌平	望月 慎介	中島 由貴	辻 麻亜子	
周産期		担当医		担当医			◎ 午後のみ・予約診察のみ
眼 科	9時30分~	棚瀬 真希子	金光 聖隆	第1・2・4・5 金光 聖隆 第3 菅澤 淳	金光 聖隆	金光 聖隆 鉄本 遼	◎ 診療開始時刻 棚瀬医師・林医師 9:30~ ◎ 林医師は予約診察のみ
			林 一	林 一		午後 林 一	
耳鼻咽喉科		小松 弘和	小松 弘和	小松 弘和	柿木 章伸 小松 弘和	小松 弘和	◎ 月曜 受付時間 11:00まで 午後手術日のため救急対応不可
放射線科	一般	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	◎ 予約診察のみ
	リニアック	木下 知恵子	木下 知恵子	木下 知恵子	木下 知恵子	木下 知恵子	
歯科口腔外科		竹内 純一郎	竹内 純一郎	竹内 純一郎	竹内 純一郎	竹内 純一郎	◎ 他医療機関等からの紹介患者および障害者(要介護の方を含む)のみ
		寺岡 駿	寺岡 駿	寺岡 駿	寺岡 駿	寺岡 駿	

編集後記



県立柏原病院と柏原赤十字病院が統合し3年目となりました。令和元年7月に丹波医療センターとして開院し、両病院の機能を維持すべく走り出しました。しかし、新型コロナウイルスの流行により、今までに経験したことのない医療危機に直面し、丹波医療圏域の地域医療を担うべくスタッフ一同日々医療と向き合っています。ワクチン接種が進んでいますが、まだまだ油断はできません。行楽の秋を満喫したいところですが、感染予防はしっかりとしましょう。(M.A)

